

## 役員会議事録

平成17年12月7日(水)  
10時30分から11時55分まで  
役員会議室

### 出席者

議長	仙道富士郎(学長)				
理事	石島庸男	柴田洋雄	田村幸男		
監事	本木正光				
列席者	総務部長	財務部長	学務部長	施設部長	
	総務課長	企画課長	人事課長	社会連携課長	財務課長

### 議事

#### 1 学長特別補佐の選任について

学長から、本件について、12月7日付けで地域教育文化学部小田隆治教授を任命したい旨資料1に基づき説明があり、了承された。

#### 2 山形大学研究プロジェクト戦略室規則(案)について

田村理事から、現在の山形大学外部資金・研究プロジェクトを廃止し、山形大学研究プロジェクト戦略室を設置したい旨発言の後、規則案について資料2に基づき説明があった。

次いで学長から、本規則案について提案があり、了承された。

なお、専任教員の選考手続きの関係上、本規則施行日は、平成18年1月1日となった。

#### 3 山形大学評価分析室規則(改正案)について

企画課長から、評価分析室に専任教員を置くための規則改正である旨発言の後、資料3に基づき改正案について説明があった。

次いで学長から、本改正案について提案があり、第6条の2第1項中、「実務を処理する」を「業務を処理する」に修正し、了承された。

なお、本規則案については、基本構想委員会、教育研究評議会です承を得た後、施行することとなった。

#### 4 山形大学役員会教員選考細則(案)について

人事課長から、本規則案は役員会が行う教員候補者の選考について定める旨資料4に基づき説明があった。

次いで学長から、本件について提案があり、了承された。

なお、本規則で採用する教員は、任期付きを原則とすることから、本規則に任期付きの採用とする旨規定するかについて意見交換があり、採用者との契約書に任期付きとする旨記載し、本規則には規定しないこととなった。

## 5 行動指針策定ワーキンググループ要項(案)について

柴田理事から、本学の中・長期的行動指針を策定するため、行動指針策定ワーキンググループを設置したい旨資料5に基づき説明があった。

次いで学長から、本件について提案があり、了承された。

また、柴田理事から、この要項を基本構想委員会に報告し、各学部で委員の選出を願うこととなる旨付言があった。

## 6 企画書

### (1) 「山形大学・元気プロジェクト」について

石島理事から、学生の課外活動を活性化するため、資料6-1のとおり山形大学元気プロジェクトを企画した旨説明の後、学長から、本件について提案があり、学生個人での応募も可能である旨加筆し、了承された。

また、企画を考えている学生諸君に対して、事務方で色々相談にのってほしい旨要望があった。

### (2) 「山形大学自然と人間の共生プロジェクト」について

総務課長から、本学理念である自然と人間の共生をさらに具体化するために、プロジェクトを公募することとしたい旨資料6-2に基づき説明があった。

次いで学長から、本件について提案があり、了承された。

なお、財務担当理事から、企画書を出す場合には、部局において既存の事業・予算を必ず見直してほしい旨発言があった。

## 7 山形大学における「環境配慮促進法」対応への提言について

学長から、本提言は、本学が環境配慮促進法にどのように対応していくかを環境情報提供ワーキンググループに検討願いまとめたものである旨及びまだ答申であり手直しも必要である旨資料7に基づき説明の後、本件については、今月の教育研究評議会でワーキンググループ委員長伊藤教授から説明願うこととしている旨発言があった。

また、学長から、本学環境マネジメントシステム体制等本会議において早急に検討する必要がある旨付言があった。

なお、本件は毎年継続していくものなので、経費をかけない工夫が必要である旨意見があった。

8 キャンパス・ハラスメント事案の報告について

石島理事から、本件について資料8に基づき報告があった。

9 平成18年度科学研究費補助金申請状況について

社会連携課長から、本件について資料9に基づく説明及び昨年より件数が減ったのは、1人複数件の申請が少なかったためである旨報告があった。

また、平均して1人1件の申請となった次の段階としては、申請したものが採択されるための工夫が必要である旨の意見があった。

なお、奨励研究の申請状況について、取りまとめの要望があり、まとめ次第報告することとなった。

10 全学各種委員会の見直しについて

総務部長から、前回教育研究評議会で意見のあった各種委員会の運営について、検討案を作成した旨及び実施方法等について資料10に基づき説明があった。

次いで学長から、見直しの実施方法についてどの案をとるか提案があり、第2案で見直しを図ることとなった。

11 その他

(1)第5回産学官連携サミット共同宣言について

柴田理事から、本件について資料11に基づき報告があった。

(2)山大の略称について

田村理事から、以前本会議で「山大」の使用を止めて「山形大学」を使用して行こうと議論した経緯があるが、広報委員会での機関誌などは、ゴロの良さから山大を使用している。広報委員会での議論を踏まえて、正式のものには山形大学を使用するが、少しでもしたものには山大の使用もいいのではないかとの提案があり、了承された。

(3)中期計画達成状況に関するヒアリングについて

企画課長から、17年度年度計画の達成状況がまとめ、各部局のヒアリングを実施する旨資料12に基づき報告があった。

また、学長から、各理事においては、1月以降平成18年度年度計画のまとめに時間を割いてもらう必要がある旨依頼があった。

(4)年末年始の行事予定について

総務課長から、本件について資料13に基づき説明があった。

(5)東北大学との共同調達について

田村理事から、重油について、東北大学との共同購入を実現することにより少なからぬ経費削減が可能となる旨資料14に基づき報告があった。

配付資料

- 資料 1 学長特別補佐候補者
- 資料 2 山形大学研究プロジェクト戦略室規則(案)
- 資料 3 山形大学評価分析室規則(改正案)
- 資料 4 国立大学法人山形大学役員会教員選考細則(案)
- 資料 5 行動指針策定ワーキンググループ要項(案)
- 資料6-1 企画書「山形大学・元気プロジェクト」
- 資料6-2 企画書「山形大学自然と人間の共生プロジェクト」
- 資料 7 山形大学における「環境配慮促進法」対応への提言
- 資料 8 キャンパス・ハラスメント事案の報告
- 資料 9 平成18年度科学研究費補助金申請状況(継続を含む)
- 資料10 全学各種委員会の見直しについて(案)
- 資料11 第5回産学官連携サミット共同宣言
- 資料12 中期計画達成状況に関するヒアリング日程
- 資料13 年未年始の行事予定について(17年度)
- 資料14 東北大学との共同調達について
- 資料 みどり樹